



寺 101
清 12663
宝小川 581

住所 東京都あきる野市小川一〇一
電話 〇四二五―五八一二六六三
管理 〇四二五―五八一二六九三
FAX 〇四二五―五八一二六九三
住職 石井 前田
寺務所 伊藤 勝之
所長

お彼岸 (二十日〜二十六日) (彼岸とは煩悩のない 浄らかな世界)

春の彼岸は、三月二十一日の春分をはさんで前後七日間。秋の彼岸は九月二十三日をはさんで前後七日間。この期間が「お彼岸」です。

その「お彼岸」とは彼の岸、つまり、向こう側の岸の事です。彼岸は、迷い、苦しみ、煩悩のない浄らかな世界とされ、古来、日本人はお彼岸の七日間を仏教週間として先祖を敬い供養してきました。特に、彼岸の中日は「昼夜平分」で、この日は太陽が真東から上り、真西に沈む日です。それは仏教の説く「中道の教え」にかなひ、「西方極楽浄土」を望むのにふさわしい日として、大切にされてきました。正しく「祈る心」を忘れつつある現代人にとって、お彼岸はご先祖を偲び、浄土への祈りを捧げるのに絶好の機会です。

今回は仏教ゆかりの食物の十一回目として、強力な抗菌作用がある「大根おろし」について紹介致します。「大根おろし」は風味のある食品です。その辛味には、なんともいえない味わいがあります。「大根おろし」の繊維には、腸内をきれいにする働きがあります。大部分は水分ですが、タンパク質やブドウ糖も含まれています。また、強い抗菌力をもっています。刺身などの薬味につかわれているのはそのためでもあります。

では「大根は」
二に消化を助け
肌をきれいにする、四に悩みをしずめる、五に飢えや衰弱を除く、との効果をあげている。また、大根葉はきわめて栄養価が高い、ビタミンCなどは、レモンにもひけをとらない含有量がある。大根と寺院では、京都の聖護院が有名です。地元でとれた大根を聖護院大根と言いますし、同じ京都の了徳寺は「大根焚き」の名で知られています。

本堂東側
完成客殿
建設開始

従来のお納めを、平成三年四月から管理料として毎年お納め戴くよう変更して今日に至っています。皆様から納められた管理料は、参道整備・水屋建設・植栽等、皆様に気持ちよく暮らして戴けるよう大切に支出してはいますが、最近、お檀家及び桶屋苑使用が増え、旧来の施設では不十分であり、現在、造設工事及び客殿の建設を行っています。完成後は施設等の管理に相当費用が掛かります。又、石材店が数社関係してきたことで、旧檀家も含めると管理料の額がバラバラで大変不公平であり、金額の問い合わせ

本堂東側造成工事も、八月末日を以て全て完了致しました。引き続き、来年五月を完成予定に客殿の建設に掛かります。新駐車場の半分は使用が出来よう確保致しますが、客殿完成まで何かとご不便を御掛けすると思っておりますが、今暫くご理解とご協力をお願い致します。

来る十月十二日は、宗祖日蓮聖人のご命日のご法要を営む、御会式です。当山では、当日午後二時と七時の二回法要を厳修致します。

日蓮聖人は、弘安五年(一二八二年)十月十三日、午前八時ごろ、信徒の池上宗仲邸にて六十一歳の一生を閉じられました。この折、いつせいに邸前の桜の花が咲いたといわれ、万灯はこのいわれにもとづいてお会式(報恩会式)のときに供養されます。日本第一の法華経の行者、み仏の使いとして、この日本国の過ちを正し、いつさいの人々を法華経の道に導き救済する為に身を命をささげた日蓮聖人の広大な徳をほめたたえ、その教えをうけついでゆく誓いをこめ報恩感謝のまことをつくす日です。

わせも多く、事務処理も煩雑になり困った状況にあります。そこで、来年度より管理料を統一させて戴きたいと考え、役員会に諮りましたところ境内が整備され施設も充実する事でもあり、ご協力戴けるのではないかと出席者全員から賛同戴きました。金額については現在多数を求めた方の管理料の計算もしやすいため、平成十年度より一万二千円に改訂させて頂くことになりました。平成十年春彼岸の案内号「たばな」に金額を書き込んだ振込用紙を同封しますので、事情をお察しの上宜しくご協力の程お願い致します。

管理料の期間はその年の四月〜翌年の三月です。平成九年度の管理料を未納の方はお彼岸の墓参の折に納入されるようお願い致します。

尚、管理料を振り込まれる場合は、後記の管理料専用口座にお振込下さいようお願い致します。

多摩中央信用金庫 秋川支店 普通預金 17-1516219

休憩所及び東屋の利用について

七月お盆前に休憩所と東屋が完成致しました。休憩所には冷暖房が完備、自動販売機、公衆電話、トイレの設備もあり、お盆の時は勿論、土日等の墓参のおり多数の方々がご利用になつております。利用されたかたから、「墓参が楽になった」「今度はお弁当を持参し、ゆつくりお参りしたい」等の言葉を掛けられる度によい施設ができた事を大変うれしく思っています。日蓮宗以外の方々もぜひご利用下さい。休憩所を待ち合わせの場、お茶を飲みたい方は、客殿に伺って法事を依頼された方は、客殿に茶菓を用意してお待ちしております。但し、法事予定時間十分位前には宝清寺客殿のほうにお越し下さるようお願い致します。

来る十月十二日は、宗祖日蓮聖人のご命日のご法要を営む、御会式です。当山では、当日午後二時と七時の二回法要を厳修致します。

御難念云
☆九月十二日は御難会と言つて、日蓮聖人の二度目の幕府への諫言により、鎌倉の竜ノ口にて斬首刑に処せられると言う謀略に遭いますが、法華経の行者を守護する善神のわざでしようか、突然、光ものが現れて役人の刀は三つに折れ、奇跡的にその刑を免れました。この一二七一年九月十二日に遭われた竜ノ口の法難にちなみ、各寺院で御難会の法要が厳修されます。当山では、お題目講の方を中心にお題目の法要の後、ぼた餅を食べ日蓮聖人を偲んでいます。

お塔婆の申込は同封の葉書をご利用になり、早めに御申込下さい。料金受取人払いの葉書は到着まで四、五日掛かりますので宜しくお願い致します。

お塔婆の申込は同封の葉書をご利用になり、早めに御申込下さい。料金受取人払いの葉書は到着まで四、五日掛かりますので宜しくお願い致します。

☆お花・お線香・管理料・その他の用事の方は従来通り、寺務所にお越し下さい。